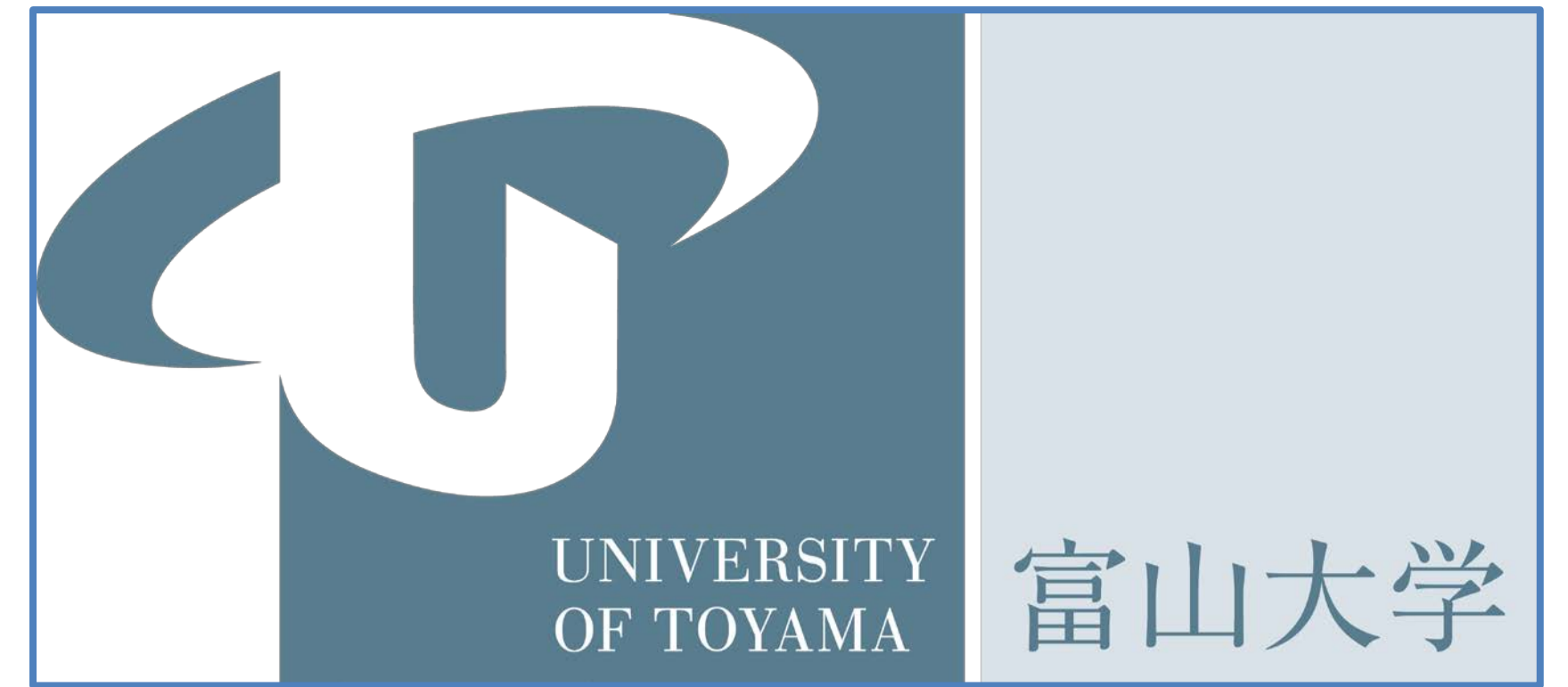


# 東日本大震災を学ぶ12の切り口

橋本勝・新里泰孝  
富山大学 大学教育支援センター・経済学部



**主旨:**3月に発生した東日本大震災は甚大な被害と大きな衝撃をもたらしたが、同時に、現代人に多くの課題と教訓を提示することにもなった。私たちは、教育現場を預かる者として、また、社会科学を標榜する者として、学生・生徒に対し、東日本大震災＝「不幸な出来事」として単に同情を促すだけではなく、これを学生・生徒が多様な角度から主体的に検証・分析することで、将来の日本社会あるいはそれを支える自分たちのありようについてしっかり考えさせる責務があるのではなかろうか。このような考えから、記憶も生々しい前期のうちに、12の共通したテーマ設定の下に、橋本は「議論」を、新里は「情報収集・整理」を主内容とする授業実践を富山大で展開し、学生たちは積極的に取り組んだ。

- (1)地震・津波はなぜ想定を越えたのか
- (3)長期避難生活の盲点
- (5)震災被害はどう報じられたか
- (7)政府対応は適切だったのか
- (9)風評被害の怖さを考える
- (11)経済損失と復興需要の推計の妥当性

- (2)原発被害から学ぶべきこと
- (4)プロ野球の開幕延期を検証する
- (6)2次的被害はこんなところまで
- (8)海外から見直された国民性
- (10)復興はどこまで進んだのか
- (12)震災ボランティアのあり方を考える

### 授業実践(橋本):教養科目「社会科学の方法と理論」

受講生:1年、理・工・人文・人間発達科学部 268名  
 ・60に分かれたチーム毎に、上記の12のテーマから自由に2つを選び、授業外に集まってB4のレジュメ案を作成し期日までに提出  
 ・その中から内容で選抜された2チームが5～10分程度のプレゼン  
 ・約60分の質疑応答(質疑応答・議論をメインにするのが橋本メソッド)  
 ・2チームの勝者を決める等のゲーム感覚を随所に入れ込む  
 ・一人一人と向き合うシャトルカードで教員との1対1関係も築く

### 授業実践(新里):共通基礎科目「情報処理」 受講生:1年、経済学部 50名

大震災を題材とする実習を数回実施。課題4は**グループ学習**で行った。  
**課題1(メモ帳)** 題目:3月11日の東日本大震災について(10行、1行20字)  
**課題2(図書館検索)** (1)選んだテーマに関係ありそうな本を本学および県内図書館から10冊以上調べ、リストを作成する。著者、書名、出版社、出版年、所在、請求番号、貸出の可否。(2)1冊借りて、コメントを書く(1行20字、10行)。  
**課題3(ネット検索)** 選んだテーマについて、関係するホームページを10個調べリストを作成せよ。そのうち2個の**重要と思われるページ**について、コメント(2行、1行20字)を加えなさい。  
**課題4(プレゼン)** 大震災のレポート。スライド8枚。両面カラー印刷(4枚+4枚)。1枚目上部に学籍番号、氏名、日付。1枚目にテーマとゼミ班、班のメンバー名。引用やコピーは**出典、出所を明示**する。8枚目は**まとめ**あるいは**結論、考察**とする。各自の**意見コーナー**(1枚または半分)を作る。



活発に手を挙げる受講生の様子 (読売新聞2011.7.6掲載)



### 学生A:風評被害の怖さを考える

#### 1. 風評被害の実態

安全な福島の野菜も風評被害の影響を受けて、まったく売れない状態が続いている。また、その影響は農産物だけではなく製造業や観光業にも大きな損害を与えている。この他にも風評被害の影響は様々な方面に波及しており、それらすべてを合わせると損害額は果てしない・・・

〈例〉福島県いわき市の運送会社の社長は、「放射能の問題があるので、いわきナンバーで来ないでほしい」「取引先から『いわき』ナンバーで来るなど言われたら往々を憚る。何とも理不尽だ」とため息をつく。

### 学生C:2次的被害はこんなところまで

#### 二次被害に対する政府の対応

- 子力発電所の更なる安全性の向上と、安全性についての国民・住民の方々の安心・信頼の確保のため、欧州諸国で導入されたストレステストを参考に、新たな手続き、ルールに基づく安全評価を実施
- 栃木県栃木市において産出される茶を対象に、当分の間の出荷制限
- 福島県の一部地域で産出される野菜に係る出荷制限
- 福島県内のすべての学校に、放射線の積算線量計を配布し、子どもが実際に受ける積算線量をモニタリングする
- 空間線量率が毎時1マイクロシーベルト以上の学校が、校庭の土に関する放射線量の低減策を講じた場合、国がその費用について支援を行う
- ハローワークでは、ゴールデンウィーク期間中(4月29日～5月8日)も、岩手県、宮城県、福島県やその他避難者の方が多い地域を対象に、サービスを提供など

http://www.kantei.go.jp/saiga/alert.htmlより引用

### 学生E:ボランティアの在り方について考える

#### 私達の意見

私も軽い気持ちでボランティアに行こうかと思っていたけれど、行かなくてよかったと思う。「自分にもできることがあればやりたい」くらいの気持ちじゃ足手まといにならないんだと感じた。

ボランティアに行くことはとても良いことだと思いますが、自己満足にならず絶対に被災者に迷惑をかけないということをしっかり考えていないと、相手も自分も気分が悪くなってしまいます。もっとしっかりとした決意が出来たらボランティアに参加してみたい。

写真: http://twcare.seesaa.net/article/210913293.html

### 学生B:地震・津波はなぜ想定を越えたのか

#### 1. 地震・津波の規模②

- 津波の規模

東日本大震災によって押し寄せた津波の高さは23メートル、陸地を駆け上がった津波の高さ(遡上高)は過去最高の40.5メートルに達していた。

文章  
<http://mainichi.jp/select/weathernews/20110311/news/20110716k0000e040054000c.html>

写真  
<http://mainichi.jp/select/weathernews/20110311/archive/news/2011/03/23/20110324k0000m040090000c.html>

### 学生D:復興はどこまで進んだのか

#### 農業復興について

津波により計2万3600ヘクタールの農地が流失・冠水。各県の被害の面積や程度により復旧の状況は大きく異なり、5月26日時点で、宮城県:浸水した約1万2800ヘクタールのうち、9.0%の1147ヘクタール 福島県:4800ヘクタールの被災面積に対し、1.3%の61ヘクタール 千葉県:93.2%の水田の復旧が完了している。

津波で被害を受けた農地について、農林水産省は除染完了に3年をめどとする方針を固めた。

引用ページ  
 URL: <http://www.asahi.com/special/10005/TKY201104260554.html>  
<http://www.4news.jp/CN/201105/CN2011052601000849.html>  
<http://yousei-ide.com/blog/archives/2250>

### 学生F:原発被害から学ぶこと

#### Fのコーナー

原発の仕組みについて簡単な画像を張り付ける

基本的な仕組みは左図のとおり。燃料棒の中では核分裂がおこっており非常に大きなエネルギーが生み出されている。これが破損すると、放射性物質が漏れ出し危険である。

[http://www.005.upp.go.jp/net.ne.jp/yoshida\\_n/L18\\_04.htm](http://www.005.upp.go.jp/net.ne.jp/yoshida_n/L18_04.htm)より